

女性会員の紹介（第2回）

今回は、平成26年6月22日 東北生活文化大学高等学校で行われた「第39回泉区少年剣道錬成大会」で、個人戦基本の部で元立ちを務めていただいた泉武道館剣友会の若生美奈さん（3段）です。年齢も聞きました。36歳だそうです。（もっと若く見えます）住所は富谷町ですが、剣友会の稽古場所である寺岡小学校や桂小学校、泉武道館まで通っています。

若生さんには3人の御子息がおり、上から中学1年、小学4年、小学1年ですが、それぞれ剣道は小学4年から、小学1年から、幼稚園年長からだそうで、親子4人で剣道に親しんでいるいわゆる「剣道一家」です。・・・写真を見てください。うらやましいかぎりですネ。

若生さん本人は、小学3年から剣道を始め高校までやっていたもののその後中断したが、一緒に剣道をやっていた若生さんの弟さんが大人になって剣道を再開したこと、剣道をやっていた友人が高校を卒業し大人になっても継続していたのがきっかけで「やってみようか」と思って再開。

再開して「高校時代との相違点は？」との感想に、高校時代は小さいときからやっていたので惰性でやっていた。しかし、再開してみて改めて剣道の良さが分かったことだそうです。「打って反省」「打たれて感謝」この武士道精神が素晴らしいと実感したそうです。この素晴らしい体験を是非皆さんに実感していただきたい、そして自分も人に教えられるように努めていきたいと話してくれました。一本になる時のきれいな姿（打突）、そこに「美」を感じるそうです。この終わりのない「美」を求めて稽古に精進していきたいと抱負を語っていただきました。すがすがしい笑顔でのインタビューでした。

最後に【PR】泉武道館剣友会には大人の女性剣士は5人もいます。皆さんも始めてみませんか。お待ちしております。

（レポーター：事務局次長 小笠原 任）



